

クイック・スタート・ガイド

この資料は、DataPower Gateway 仮想エディションを初めて使用するときに役立ちます。

製品の概要

クラウド・プラットフォーム上に仮想アプライアンスをデプロイするには、2 つの Debian パッケージが必要です。非実動エディションおよび開発者エディションは、テストおよび開発専用です。

1 ステップ 1: ソフトウェアへのアクセス



パッケージを IBM® パスポート・アドバンテージからダウンロードします。以下のコンポーネントが含まれています。

- DataPower® Gateway をデプロイするための Debian パッケージ。
- リソース・キット。
- この PDF 文書。

2 ステップ 2: ハードウェアおよびシステム構成の評価



DataPower Gateway は、IBM SoftLayer® 仮想サーバー、Amazon EC2 (Elastic Cloud Compute)、または Microsoft Azure 上の 64 ビット Ubuntu 14.04 LTS でサポートされます。

Debian パッケージをデプロイするには、以下に示す特定のシステム要件を満たす必要があります。

- オペレーティング・システムで 64 ビット Ubuntu 14.04 LTS が実行されている。
- 最低でも 2 つの仮想プロセッサ (vCPU) と 4 GB RAM で構成されている。
- /opt で 2 GiB のフリー・ストレージが使用可能である。
- /var で 17 GiB のフリー・ストレージが使用可能である。
- RAID ストレージが区画化されておらず、/dev/xvdc または /dev/sdc として表示される。

3 ステップ 3: DataPower 仮想アプライアンスをデプロイするための準備



IBM SoftLayer 仮想サーバー、Amazon EC2、および Microsoft Azure では、DataPower Gateway は Ubuntu で実行されるアプリケーションです。デプロイするには、2 つの Debian パッケージ (共通パッケージと、仮想エディション製品固有のパッケージ) が必要です。

- xxx.common_amd64.deb

このパッケージをインストールする必要があります。

- xxx.image_amd64.deb

以下のいずれかのパッケージをインストールする必要があります。IBM は、仮想エディション製品ごとに 1 つの Debian パッケージを提供しています。

- xxx.prod.image_amd64.deb は実動パッケージです。
 - xxx.nonprod.image_amd64.deb は非実動パッケージです。
 - xxx.dev.image_amd64.deb は開発者エディション・パッケージです。
- xxx.kernel-build-tool_amd64.deb

DataPower Gateway がセルフ・บาลancing・モードでスタンバイ制御をサポートする場合のみ必要で、通常はサポート・システム上でのみ使用します。

4 ステップ 4: DataPower 仮想アプライアンスのデプロイ



仮想アプライアンスをデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. **root** として **Ubuntu** にログインします。
2. **xxx.common_amd64.deb** ファイルと **xxx.image_amd64.deb** ファイルを **Ubuntu** 上のターゲット・ディレクトリーに転送します。
3. **dpkg** コマンドを使用して **Debian** パッケージをデプロイします。

```
dpkg -i /full_path/xxx.common_amd64.deb /full_path/xxx.image_amd64.deb
```
4. 依存関係の欠落に関するエラー・メッセージを受け取った場合は、**apt-get** コマンドを使用して修正します。

```
apt-get -f install
```

DataPower Gateway が自動的に始動します。**Telnet** 接続で、アプライアンスのポート **2200** の **localhost** にアクセスします。初期始動プロセスは、約 **5** 分かかります。

5 ステップ 5: 始めに



アプライアンスを初期化した後で、**Web** 管理サービスを構成して **DataPower WebGUI** にアクセスし、ご使用条件に同意する必要があります。

仮想アプライアンスを初期化するには、以下の手順を実行します。

1. 「**Login: (ログイン:)**」プロンプトに、**admin** と入力します。**admin** はローカル・ユーザー・アカウントの名前です。このアカウントの所有者はスーパーユーザーです。
2. 「**Password: (パスワード:)**」プロンプトに、**admin** と入力します。**admin** は **admin** アカウントのデフォルトのパスワードです。スクリプトは後に、このパスワードを変更するように求めるプロンプトを出します。
3. プロンプトに従って、適切な動作モードを有効にします。
4. **DataPower Web** 管理インターフェースを構成して **WebGUI** にアクセスし、ご使用条件に同意します。コマンドによって、ポート **9090** の **Web** 管理インターフェースが構成されます。IP アドレスは、クラウド・プロバイダーから受け取った **eth0** のアドレスです。

```
# configure terminal
# web-mgmt
# admin-state enabled
# local-address eth0_ipv4_1
# exit
```

5. **WebGUI** にアクセスして、ご使用条件に同意します。**Web** 管理インターフェースにアクセスするためのアドレスは、**HTTPS** プロトコルを使用して、**https://address:port** という形式にします。
6. ご使用条件に同意します。

6 ステップ 6: モジュールの管理



実動エディションの場合は、**IBM Passport Advantage®**でモジュールを購入します。モジュールを購入すると、アクティベーション・ツールとインストール手順を含むパッケージを受け取ります。

非実動エディションと開発者エディションの場合は、無効化ツールを使用して、不要なモジュールを無効にします。このツールは、**IBM Fix Central** から無償で入手することができます。

詳細情報



詳しくは、**IBM Knowledge Center** (<http://ibm.com/support/knowledgecenter/SS9H2Y>) の **IBM DataPower Gateways** 資料を参照してください。